

第45回愛知県障害者技能競技大会

<114>ビルクリーニング競技 競技課題A

いっぱんでき、ちゅういじこう
一般的な注意事項

< 共通 >

- 課題は、課題1「カーペット床清掃」と課題2「弾性床清掃及び机上清掃」の2課題です。又、競技は、課題1の「カーペット床清掃」、課題2の「弾性床清掃及び机上清掃」の順番で行ないます。課題1と課題2の間は休憩時間となり指定場所で待機していただきます。
- どちらの課題も、作業面積は、16㎡(4×4m)幅木による区画とし、幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
- 作業場所にある机は、移動させないでください。
- 2課題とも次の規定時間が定められています。
① 課題1 7分 ② 課題2 10分
尚、両課題とも残り時間が少なくなったところでアナウンスします。
① 課題1 2分 ② 課題2 3分
又、規定時間をそれぞれ1分超えたところで打ち切りとします。打ち切りとなった競技者は、競技委員の指示に従ってください。
- 各課題とも作業開始の指示は競技委員が行ないます。競技者は、拳手または「はじめます」と申告して、スタートしてください。競技が終了したら拳手または「終わりました」と申告してください。又、作業ごとの、入退出を行う際には会釈(軽く挨拶や礼)をしてください。
競技中は上記以外の声は出さないでください。
※ 始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、拳手のみで構いません。
- 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。
- 作業終了後、競技時間を発表します。
- 両競技で使用できる資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- 使用した資機材は、競技委員の指示に従って後片付けを行なってください。
- 競技の採点は、作業準備・作業動作(手順)・仕様誤り・作業態度・作業時間の5面から審査し、加点方式により行います。
- 競技者は、本競技に適した服装をしてください。

< 課題1 カーペット床清掃 >

- 床の材質は、繊維系の床面とします。
- 作業は、掃除機によるカーペット床の除塵作業です。
- 床のごみは、「シュレッターで裁断した紙」とし、50ml程度をまいたものとします。

< 課題2 弾性床清掃及び机上清掃 >

- 床の材質は、塩化ビニール系の長尺シートの床面とします。
- 作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。
- 本課題で使用する資機材・消耗品は、作業用カートに載せてありますので、不足なものがないか点検し使用してください。

- 4 モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に適切な長さに、競技者自身で調節してください。
- 5 乾式モップ用のクロスは、競技者が作業前に乾式モップヘッドに取付けてください。
- 6 クロスを装着した乾式モップヘッドは作業カート上部、モップの柄は作業カートの所定の位置にそれぞれ競技開始前にセットしてください。
- 7 床のゴミは、「おがくず」とし、50ml程度をまいたものとします。

【資機材一覧】

1. 競技会場に準備されているもの

(1) 課題1

品名	寸法又は規格	数量
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ2型	1台
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

(2) 課題2

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業表示板		1個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本
ラージ (モップ房)	260g 白色	1個
小型ぼうき	30cm幅用	1本
乾式モップヘッド	63cm	1個
文化ちりとり	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1枚 無地 から拭き用 (白色) 1枚	2枚
ダスタークロス	69cm幅の不織布	1枚
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1枚
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

せんしゅ じさん
2. 選手が持参するもの

ひんめい 品名	すんぼうまた きかく 寸法又は規格	すうりょう 数量
さぎょう ぎ うえ した 作業着 (上・下)		ちやく 1 着
さぎょうぼうまた さんかくきん 作業帽又は三角巾		こ 1 個
さぎょうぐつ 作業靴		そく 1 足

じさん じょうき かぎ どういつひんもく よび じさん
*持参するものは上記のものに限るが、同一品目のものを予備として持参することは
さ つか
差し支えない。

かだい
課題1 カーペット床清掃 (作業時間: 7分)

さぎょうしよう
作業仕様

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
しきざい じゅんび 資機材の準備	<p>さぎょう ひつよう しきざい ・作業に必要な資機材は、 かいじょう じゅんび すでに会 場に準備され ている。 しんくうそうじき ・真空掃除機には、ウォンド すいこみくち と吸込口がセットし てある。 さぎょうひょうばん すで しょうてい ・作業標示板は既に所定 いち た の位置に立ててある。</p>	<p>ひつよう しきざいおよ ・必要な資機材及び すうりょう しきざい 数量は、資機材 いちらん さんしょう 一覧を参 照する こと。 しきざい か ふ そく な ・資機材が過不足無 く 準備されている てんけん いじょう か点検し、異常が もう で あれば申し出る。</p>	<p>しきざい てんけん 資機材の点検 しゅうりょうご 終了後、 かかりいん しじ 係 員の指示 したが しょうてい に従い所定の いち た 位置に立つ。</p>
きょうぎかいし 競技開始の あいさつ 挨拶	<p>きょうぎいん はじ あいず 競技委員の始めの合図で しょうてい いち た 所定の位置に立ち、「はじ めます」と挨拶を 行 い、 きょうぎ かいし 競技を開始する。</p>	<p>かたて あ いちれい 片手を挙げ、一礼す る。</p>	<p>さぎょうかいし 作業開始を しんこく 申告する。</p>
さぎょうじゅんび 作業準備	<p>しんくうそうじき ほんぼしょ 真空掃除機を保管場所から さぎょうばしょ ちか いどう 作業場所の近くへ移動し、 はず コードを外し、プラグをコ ンセントに差し込み、始動 てんけん おこな 点検を 行 う。</p>	<p>すいこみくち て ・吸込口に手をあ きゅういんりょう て、吸引量があるか てんけん 点検する。</p>	
にゅうしつ あいさつ 入 室の挨拶	<p>いりぐち しつない む 入口にて、室内に向かっ て入 室 の挨拶を 行 う。</p>	<p>しつれい 「失礼します」と いちれい にゅうしつ 一礼して入 室す る。</p>	

<p>じょじんさぎょう 除塵作業 しんくう (真空 そうじき 掃除機)</p>	<p>しんくうそうじき しょう そと ①真空掃除機を使用し、外 いりぐち じょじん から入口を除塵し、 にゆうしつ 入室する。 しつない さぎょうてじゆん ②室内での作業手順は、 ゆかさぎょうてじゆん カーペット床作業手順 おこな のとおり 行 う。 ぼこ も あ じょじん ③ごみ箱は、持ち上げて除塵す る。 ぜんしん じょじん ④前進しながら除塵する。 さぎょう しゅうりょう ⑤ 作業が 終了 したら そうじき しつない だ 掃除機を室内より出してプラ ぬ グを抜く。</p>	<p>いりぐち ふ ・入口のごみを踏まな ひろ あしば かくほ いように広めに足場を確保す る。 すいこみぐち ゆか つよ お ・吸込口を床に強く押しつけない。 てまえ ひ だ ・イスを手前に引き出し、 つくえ した じょじん おこな もと 机の下の除塵を行い、元 もど に戻す。 そうじきほんたい て ・掃除機本体は、手で持っ いどう て移動する。 も ぬ ・プラグを持って抜く。</p>	<p>ごみは、シュレッ ターで さいだん 裁断したもの ていど を 50ml程度 きんとう 均等にまいて ある。 そうじき 掃除機のコー も ぬ ドを持って抜 かない。</p>
<p>てんけん 点検</p>	<p>ゆびさ また もくしてんけん おこな 指差し又は目視点検を 行 う。</p>	<p>しきざい わす ごみ 資機材の忘れ、ゴミの と のこ 取り残しがないか てんけん 点検する。</p>	<p>こゑ だ 声を出さない こと。</p>
<p>たいしつ あいさつ 退室の挨拶</p>	<p>でぐち しつない む 出口にて、室内に向かって たいしつ あいさつ おこな 退室の挨拶を 行 う。</p>	<p>しつれい とう 「失礼しました」等 いちれい たいしつ と一礼して退室す る。</p>	
<p>しきざい かたづ 資機材の片付け</p>	<p>しんくうそうじき ま 真空掃除機のコードを巻 しんくうそうじき ほかんばしょ き、真空掃除機を保管場所 もど に戻す。</p>		
<p>しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶</p>	<p>しよてい いち た 所定の位置に立ち、 しゅうりょう あいさつ おこな 終了の挨拶を 行 う。</p>	<p>お とう 「終わりました」等 い しひょうじ おこな の意思表示を 行 う。</p>	<p>さぎょうしゅうりょう 作業 終了を しんこく 申告する。</p>

課題2 弾性床清掃及び机上清掃 (作業時間:10分)

さぎょうしょう
作業仕様 1-1

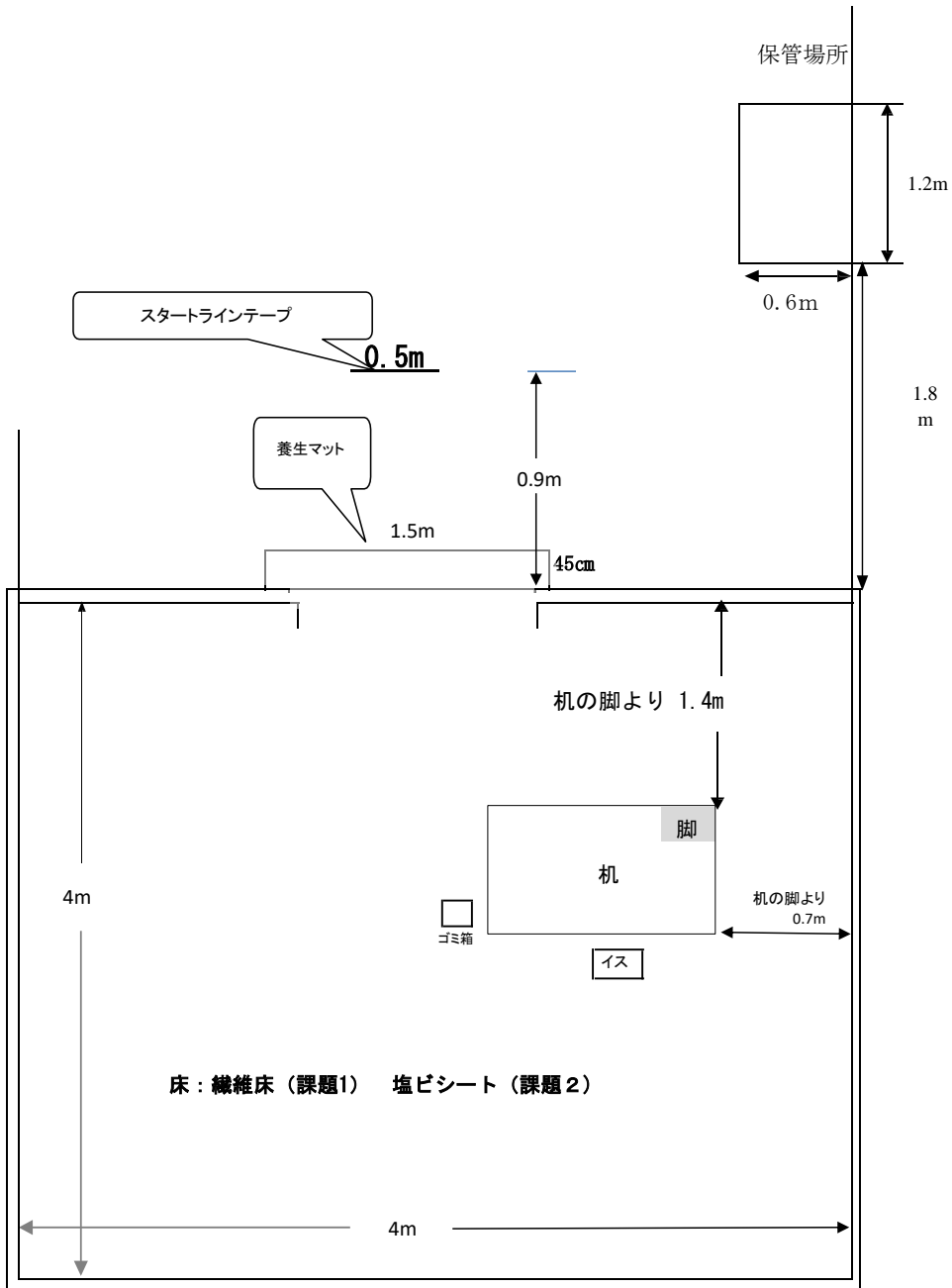
さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
<p>しきざい じゆんび 資機材の準備</p>	<p>さぎょう ひつよう しきざい ・作業に必要な資機材（タオ ル・モップ等）は、すでに さぎょう 作業カート（以下カート） じょうぶ じゆんび 上部に準備されている。 ①ワンタッチモップ柄 （以下柄）の長さを調整し、 （以下）の長さ調整し、 さぎょう カートの所定の場所にセットす る。 ②ダスタークロスを乾式 モップヘッド（以下ヘッド） に装着し、カート上部に 置く。</p>	<p>ひつよう しきざい およ ・必要な資機材及び すうりよう しきざいいちらん さん 数量は、資機材一覧を参 照すること。 しきざい か ふそく な じゆん ・資機材が過不足無く準 備されているか点検し、異 常があれば申し出る。</p>	<p>しきざい てんけん 資機材の点検 しゅうりようご かかりいん 終了後、係員 の指示に従い所 定の位置に立つ。</p>
<p>さぎょうかいし 競技開始の挨拶</p>	<p>しよてい いち た きょうぎ 所定の位置に立ち、競技 委員の始めの合図で「はじ めます」と挨拶を行 い、 競技を 開始する。</p>	<p>かたて あ いちれい 片手を挙げ、一礼す る。</p>	<p>さぎょうかいし 作業開始を 申告する。</p>
<p>さぎょうじゆんび 作業準備</p>	<p>さぎょうよう 作業用カート（以下カー ト）を保管場所から作業 場所の近くへ移動し、 作業表示板を立てる。</p>		
<p>にゅうしつ 入室の挨拶</p>	<p>いりぐち 入口にて、室内に向かっ て入室の挨拶を行 う。</p>	<p>しつれい 「失礼します」と 一礼して入室す る。</p>	
<p>あ イス上げとゴミ しより 処理 あ (1) イスを上げる あ (2) ゴミの回収 あ (3) ゴミ袋のセ ット</p>	<p>さぎょうまえ ①作業前にイスを机上に あ 上げる。 あ ②ゴミ箱にセットされて いるビニール袋を あ 回収する。 あ ③ 回収したビニール袋 をカートの袋の中に入れる。 あ ④ビニール袋の替袋を あ 取り出し、ゴミ箱にセ ットする。</p>	<p>つくえ うご ・机は動かさない。 つくえ ・イスは机からはみ 出さないように正し くのせる。 あ ・ビニール袋を正し くセットする。 あ ・ゴミ箱は机からは み出さないように正しくのせ る。</p>	

	<p>⑤ゴミ箱を机上に上げる。</p>		
<p>じょじんさぎょう 除塵作業 かんしき (乾式モップ)</p>	<p>①ダスタークロスを装着した乾式モップヘッドは入口の養生マットの上でモップの柄に取り付ける。</p> <p>②乾式モップで、外から入口を除塵し、入室する。</p> <p>③室内での作業手順は、乾式モップ作業手順のとおり行う。</p> <p>④ゴミは前進しながら出口に向かって1箇所に集める。</p> <p>⑤ヘッドを柄から外す。</p> <p>⑥使用済みのダスタークロスはヘッドから外し、カーットの袋の中に収納する。</p> <p>⑦柄とヘッドをカートに戻す。</p> <p>⑧小型ぼうきと文化ちりとりを使用し、集めたゴミを回収する。</p> <p>⑨ゴミの取り残しがないか点検する。</p> <p>⑩小型ぼうき、文化ちりとりをカートに戻す。</p>	<p>・柄の先端には親指を添える。</p> <p>・ヘッドの辺が広い方を先行させる。</p> <p>・入口のゴミを踏まないように足場を確保する。</p> <p>・ヘッドは、床から離さない。</p> <p>・使用済みダスタークロスはカートの中の袋に入れる。</p> <p>・ごみの取り残しがある場合は、小型ぼうきと文化ちりとりを使用し回収する。</p> <p>・ヘッドは、カート上部に、スポンジ面を上にして、邪魔にならないように置く。</p>	<p>ごみは、おがくずを 50ml 程度均等にまいてある。点検の際に声を出さないこと。</p>

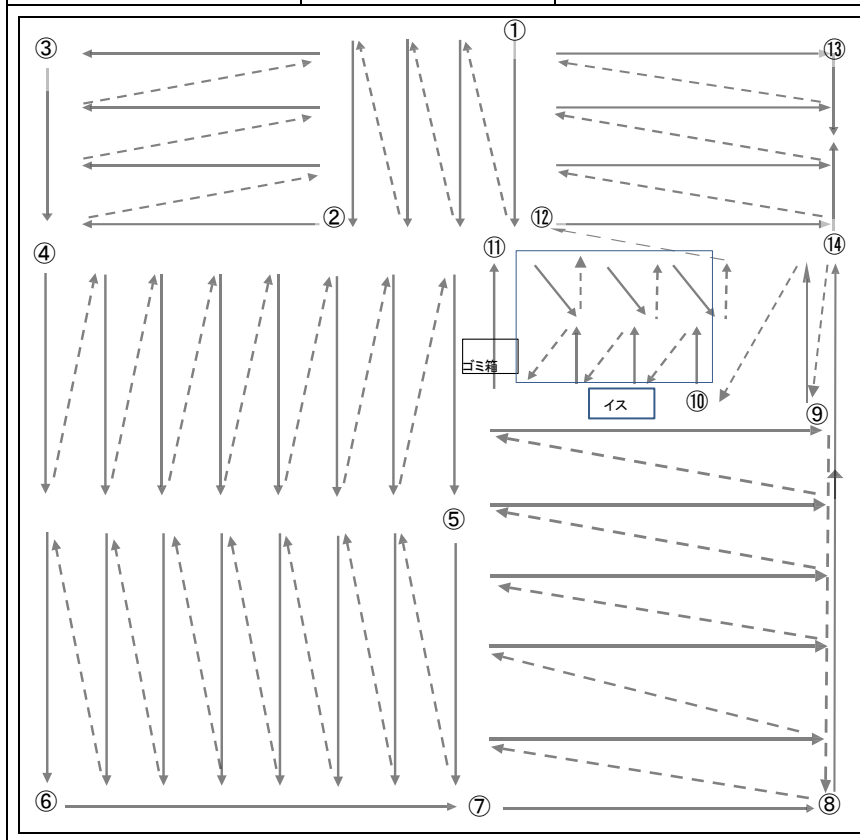
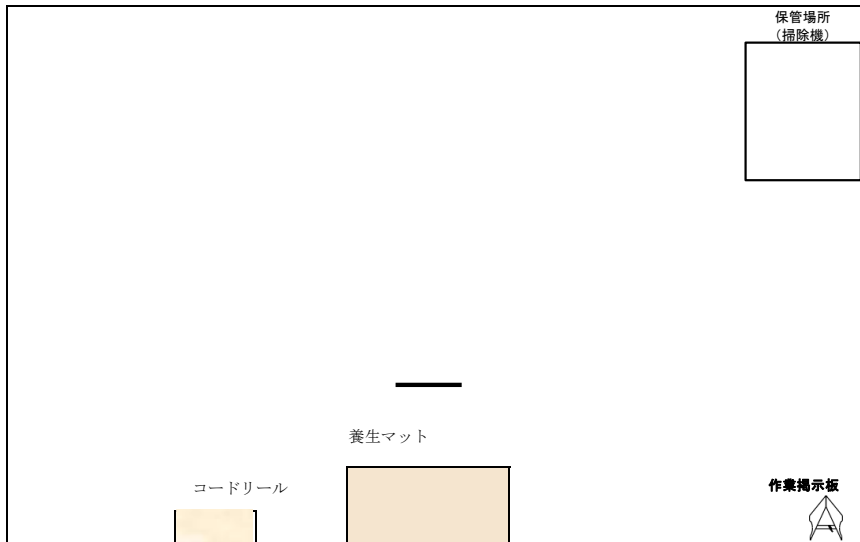
さぎょうしょう
作業仕様 1-2

さぎょうこうてい 作業工程	さぎょうほうほう 作業方法	ほそくじこう 補足事項	びこう 備考
みずふ きぎょう 水拭き作業 (モップ)	<p>① コート全体面積を拭く。</p> <p>② 室内での作業手順は、水拭きモップ作業手順のとおり行う。</p> <p>③ コーナー周りと机の足元は房糸に手を添えて拭く。</p> <p>④ モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。</p> <p>⑤ モップは横拭きとし、後退しながら拭く。</p>	<p>・拭き残し、拭きむらのないようにする。</p> <p>・柄の先端には親指を添える。</p> <p>・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。</p> <p>・拭いたところを踏まないようにする。</p>	
ぼこ お ごみ箱とイス下ろし	あんぜん おと た 安全に音を立てないように下ろす。	あし うえ お ・足の上に落とさないように注意する。	
きじょうふ 机上拭き	<p>① 青色のタオルを八折にして持つ。</p> <p>② 机の上を青色のタオルで水拭きした後、白色のタオルでから拭きを行う。</p>	<p>・タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。</p> <p>・机の縁を含めて、四隅から中央へと拭く。</p> <p>・横拭き・縦拭きを行う。</p>	
てんけん 点検	ゆびさ また もくしてんけん 指差し又は目視点検をおこなう。	しきざい わず ・資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	てんけん さい こえ 点検の際に声をださないこと。
たいしつ あいさつ 退室の挨拶	でぐち しつない む 出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	しつれい 「失礼しました」と一礼して退室する。	
しきざい かたづ 資機材の片付け	さぎょうひょうじばん 作業表示板をカートにしゅうのう ほかん 収納し、カートを保管場所に戻す。		
しゅうりょう あいさつ 終了の挨拶	しよてい いち た 所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	お とう 「終わりました」等の意思表示を行う。	さぎょうしゅうりょう 作業終了を申告する。

標準配置図(モデル)



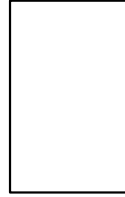
カーペット床作業手順



注：作業の進行①-⑭
 吸引回数を入れたものではありません。
 ①の作業を一回の行程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。
 ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。

乾式モップ作業手順

保管場所
(作業カート)

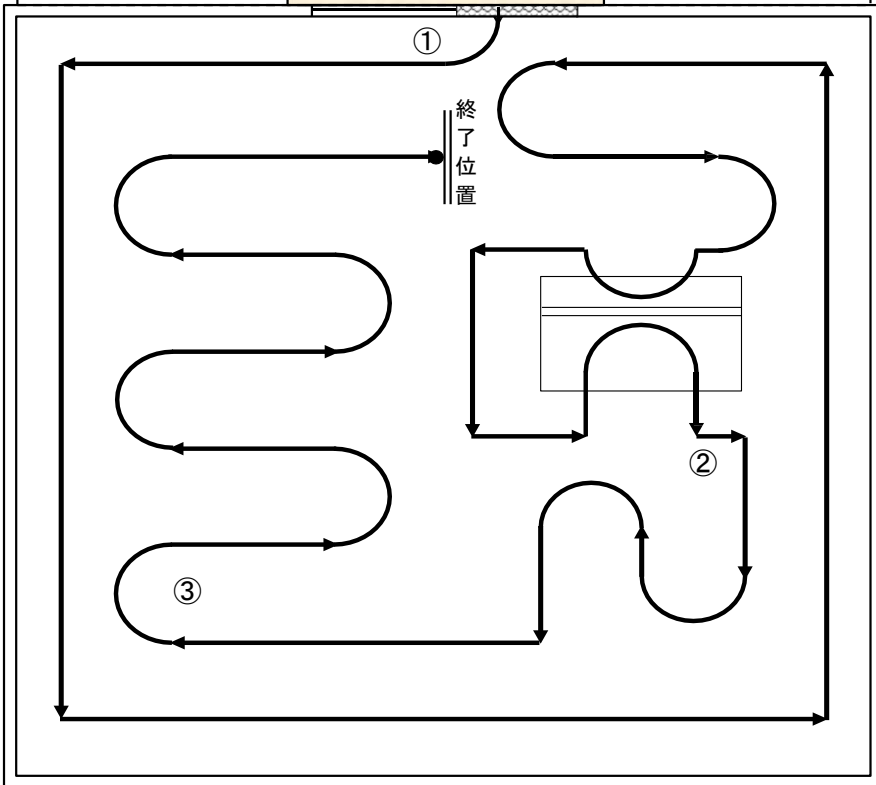


養生マット



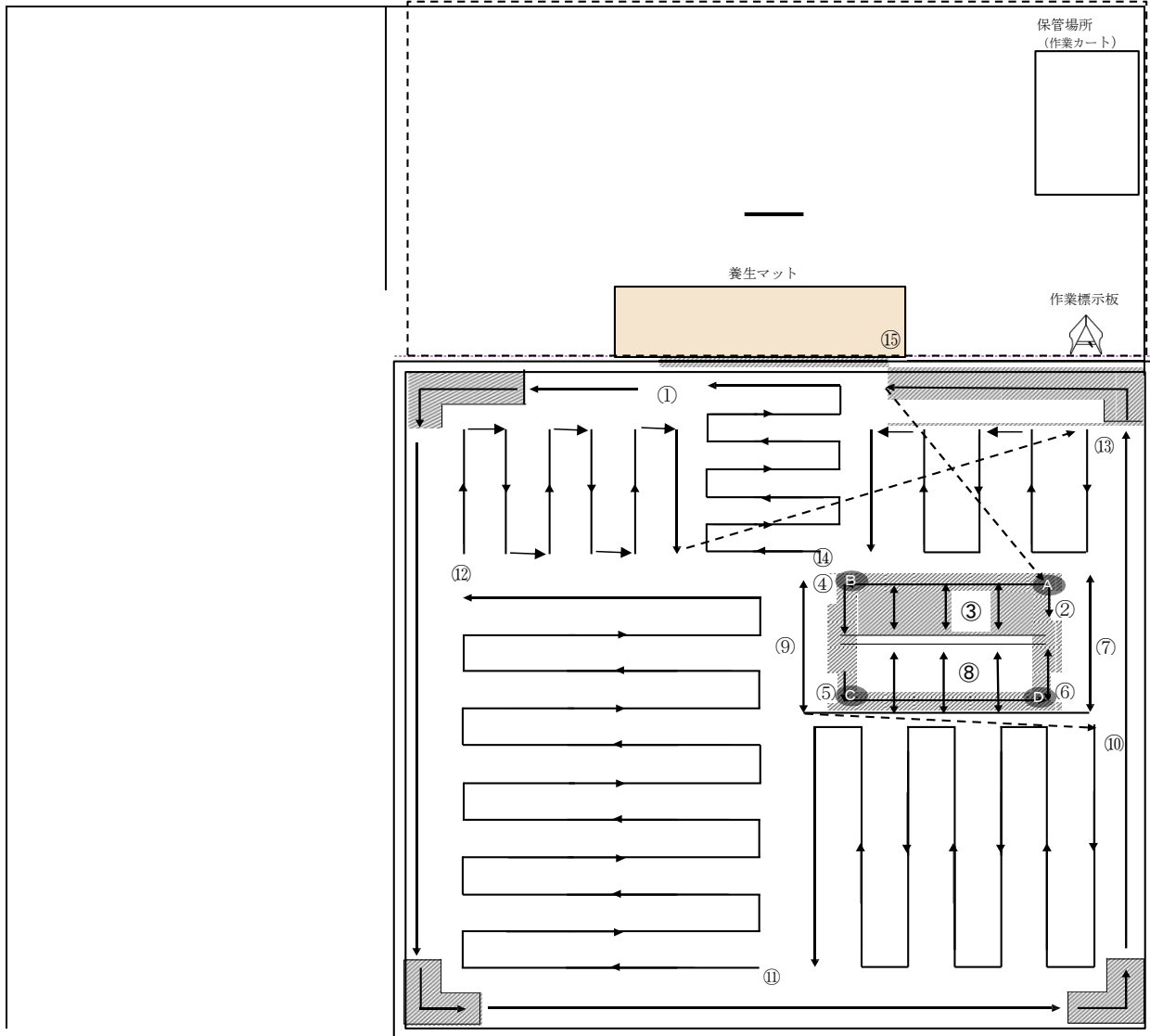
開始位置

作業標示板



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

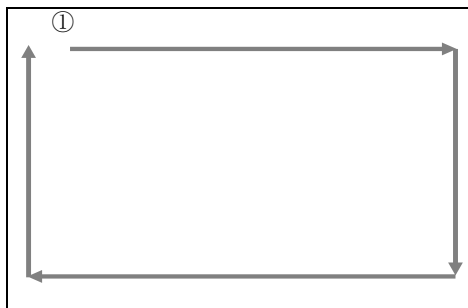
水拭きモップ作業手順



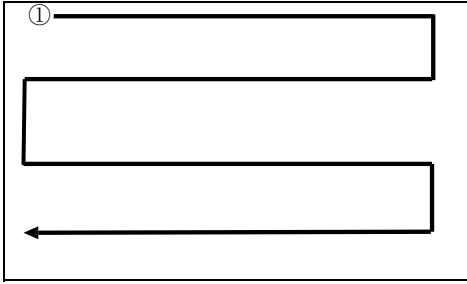
注：印は手を添える箇所を示す。水拭き回数を入れたものではありません。

- ①巾木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ②Aの足回りを手を添えて拭く
- ③机の下を手を添えて拭く
- ④～⑥B足、C足、D足の順に足回りを手を添えて拭く
- ⑦机の脇(壁側)を拭く
- ⑧机の下を手を添えずに拭く
- ⑨机の脇(入口側)を拭く
- ⑩～⑬スパンを決めて拭く
- ⑭入口を手を添えて拭く

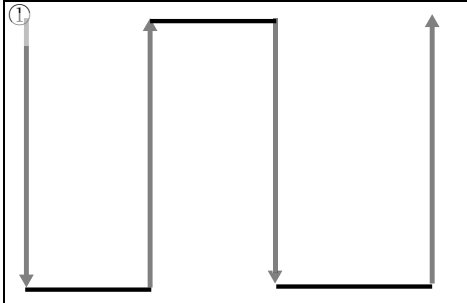
机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。□(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
 (このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。
 (このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)
 ④から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。